学校番号	3001

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２	年次	３
使用教科書	新編現代文Ｂ　（数研出版）						
副教材等	必携国語総合セミナー　（浜島書店編集部）						

１　担当者からのメッセージ

・卒業後に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・様々な文章に触れ、「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成を理解することができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・様々な文章や考えに触れ、広い視野を養う。
・漢字や語句の意味等国語における基本事項を習得する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ワークシート等）	行動の観察 （発問に対する解答等）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙） 定期考査	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想	【近代以降】 教材: 「伝える極意」	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	小説1	【近代以降】 教材:「山月記」 精読後、原稿用紙の使い方を学び、読書感想文を書き、読み合う。	○	○	○	◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b:行動の観察及び記述の点検 c:記述の点検と確認及び分析定期考査 d、e: 記述の確認及び定期考査
2学期	詩歌	【近代以降】 (代表的な俳句の作品、詩を鑑賞し、俳句作成を行う) 教材:「ホンモノのおカネの作り方」 「永訣の朝」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	評論1	【近代以降】 教材: 「ひよこの眼」 「胆力について」	○	○		◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

3学期		教材: 副教材「パスポート国語必携」	○				◎	a:　言語文化に対する関心を深め、知識や技能の向上を図ろうとしている。 e:　言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 e:記述の確認及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力
d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。